

第44回

医学教育セミナーとワークショップ in 福島

開催要項・参加者募集

医学教育開発研究センターは、新しい医学教育の開発と普及を目的とした“医学教育セミナーとワークショップ”を毎年4回開催し、全国から多くのご参加をいただいております。

第44回医学教育セミナーとワークショップは、福島県立医科大学との共催で開催いたしますのでぜひご参加下さい。

岐阜大学 医学教育開発研究センター 鈴木 康之

2011年3月11日に発生した観測史上最大M9.0の地震・大津波は1万5千人を超える死者をもたらした。東北地方太平洋岸の地域に壊滅的な被害を与えました。また、この激甚災害は東京電力福島第一原子力発電所からの大量の放射性物質の漏洩を伴う原子力事故を引き起こし、福島県広域の住民に長期の避難を強いています。

今回、被災県で開催する医学教育セミナーとワークショップでは、東日本大震災以降、一変した社会の変化に医療人教育をどう対応させていくか、次に来る災害にどう備えるか、高齢化を含め深刻な医療状況の地域に応じた医学教育のあり方について学ぶ機会を設けたいと思います。

全国から多くの皆様にご参加いただきたいと思います。

福島県立医科大学 医療人育成・支援センター 石川 和信

日程 2012年5月26日(土) 13:00
~27日(日) 13:30

会場 福島県立医科大学(福島県福島市)

WS-1 災害から学ぶ実践的医療教育

高橋弘明(岩手県立中央病院) 大谷晃司(福島県立医科大学) 若林英樹(岐阜大学)

WS-2 厳しい現実に向き合うこころのケアと医療面接

藤崎和彦(MEDC) 石川和信(福島県立医科大学)

WS-3 地域枠入学者と地域医療教育のプランニング

福島哲仁(福島県立医科大学) 長谷川仁志(秋田大学) 高田淳(高知大学)

特別セミナー 「震災後の社会が医療者に求めていること」

講師 赤坂 憲雄 先生

(学習院大学教授・福島県立博物館長・東日本大震災復興構想会議委員)

見学体験セミナー シミュレーション教育の授業活用：バーチャル医学生
@ 福島県立医科大学スキルスラボ



2012
春

医学教育共同利用拠点：岐阜大学 医学教育開発研究センター

詳細・申込み：<http://www1.gifu-u.ac.jp/~medc>



〒501-1194 岐阜市柳戸1-1 medc@gifu-u.ac.jp
TEL: 058-230-6470 FAX: 058-230-6468

● WS-1 災害から学ぶ実践的医療教育

日時： 5月26日（土）13：00～17：00 27日（日）10：30～13：30
企画： 高橋弘明（岩手県立中央病院）・大谷晃司（福島県立医科大学）・若林英樹（岐阜大学）
対象： 災害支援・災害教育に関心をお持ちの教員、指導医、医師、学生、メディカルスタッフなど、どなたでも
定員： 40名

概要

2011年3月11日に東日本を襲った大災害は、広範な地域に甚大な被害をもたらし復興は今なお途上です。医療環境も壊滅したように見えますが、各地では確実に、現実に対応した形で医療提供・教育が育ってきています。未曾有の災害が起こったからこそ、その中で実践的なストラテジーを考え、今後の医療教育に役立てたいと私たちは考えます。

今回は、放射線被曝の初期対応シミュレーションの実践例、被災地病院で行われた医療提供・教育の実際、中京・東海地域と岩手県が行った地域・災害地医療の研修医教育のモデル事業の情報共有を皆さんと共にしながら、福島発・東北発「災害から学ぶ実践的医療教育」のプロダクトを全国に発信したいと思います。

↓震災後の福島の様子↓



● WS-2 厳しい現実に向き合うこころのケアと医療面接

日時： 5月26日（土）13：00～17：00 27日（日）10：30～13：30
企画： 藤崎和彦（MEDC）・石川和信（福島県立医科大学）
対象： 災害と心のケアやコミュニケーションに関心がある医療職や福祉職、学生、模擬患者さん、ボランティアの方、どなたでも
定員： 60名

概要

大震災や原発事故を体験し厳しい現実に向き合わざるを得ない地域の人々に対して、実際に心のケアに積極的にかかわっている先生方をタスクフォースにして、こころのケアと医療面接について考えたいと思います。

今回は、①避難所（急性期）の支援、②仮設住宅・個別面接での支援、③Care Giverへのメンタルケアという3つのテーマのセッションに分けて、講演と模擬患者とのロールプレイを繰り返しながら、体験学習を通じて、実践的なワークショップを目指したいと考えます。

● WS-3 地域枠入学者と地域医療教育のプランニング

日時： 5月26日（土）13：00～17：00 27日（日）10：30～13：30
企画： 福島哲仁（福島県立医科大学）・長谷川仁志（秋田大学）・高田淳（高知大学）
対象： 大学の入試担当教員、大学の教務（学務）担当教員、地域医療教育に携わる教員、地域の医療機関、福祉機関、指導医、研修医、医学生、模擬患者、行政、その他大学入試や地域医療教育に関心のある方、どなたでも
定員： 30名

概要

全国的な「医師不足」を背景に、毎年のように医学部の定員増が実施されてきました。それに合わせて卒業生の地域定着を図る目的で様々な工夫が各大学で検討されています。その1つが“地域枠入試”です。しかし、同じ地域枠入試といっても各都道府県の置かれている実情を反映して形態は様々であり、未だ試行錯誤の段階にあります。また、その評価も難しいのが現状です。もう1つは“地域医療教育”の充実でしょう。地域枠入学者に限らず一般学生対しても地域医療教育は今や必須です。

今回は、医学生の地域定着を図るため各大学の入試及びカリキュラムに関する情報交換を行い、さらに医師にとって必要とされる地域医療教育のプランニングと実践の方法について検討したいと考えています。

特別セミナー 「震災後の社会が医療者に求めていること」

講師 赤坂 憲雄 先生

(学習院大学教授・福島県立博物館長・東日本大震災復興構想会議委員)

日時： 5月26日(土) 17:30~18:30
対象： セミナーとワークショップ参加者全員

鎮魂と再生のために——復興構想会議2011,4,30 発表メモ ~抜粋~

“大震災は無残にも、それぞれの東北が背負う、それぞれに厳しい猶予の許されない現実を白日のもとにさらしたのである。それにしても、東北の人々はみごとに凛として、誇り高く耐え忍び、この千年に一度の大震災と、未曾有の原発事故にきちんと立ち向かおうとしている。ほとんどの東北人は、身内や知り合いのなかに犠牲者をかかえ、それゆえに、たがいに相互扶助の精神をもって支え合おうと努めてきた。そこは、東北の絆が試される現場でもあった。この巨大な災厄を契機として、あらためて東北の絆が編み直され、復興と再生に向けて人々が歩み出すために、そして、それを支援するためにこそ、復興構想会議は存在するにちがいない。わたしたちは傷ついた東北と、そこに暮らす人々と手を携えて、世界に向けて深い感謝の念を表わしながら、新しい世界を創るために働かねばならない……”

この特別セミナーでは、東北学を樹立され日本人の伝統文化を熟知しておられる赤坂先生に、激甚災害により深く傷つき、多くを失った被災地の復興に医療者がこれから何ができるかについて話していただきます。

見学体験セミナー 福島県立医科大学 スキルラボにて シミュレーション教育の授業活用：バーチャル医学生

日時： 5月27日(日) 9:00~10:15
企画： 石川和信(福島県立医科大学)
対象： シミュレーション教育に興味がある方、どなたでも
定員： 60名

概要：

昨年に改訂された医学教育モデルコアカリキュラムでは、臨床実習へのシミュレーション教育の導入を推進することが強く盛り込まれています。シミュレータを効果的に活用すれば、実際の患者では危険性や羞恥心の問題があるクリニカルスキルを繰り返し練習することができます。福島医大では医学教育担当教員がスキルラボを運営し、シミュレーション教育のFaculty Development (FD) を推進してきました。現在、ほとんどの診療科の臨床実習でシミュレーション教育が導入されています。

この見学体験セミナーではスキルラボの効果的運営のコツを学び、3つの診療科で実際に行っているシミュレーション学習を参加者に楽しんでいただきます。



参加登録方法

事前登録制です。インターネットから直接お申し込みください。

MEDC

検索

第44回医学教育セミナーとワークショップ **最新情報はこちらをご覧ください**

<http://www1.gifu-u.ac.jp/~medc/seminarworkshop/2012/44th/index.html>

申し込み締め切り：2012年5月13日(日)

- ※ ホームページからお申し込みできない方は、FAX (058-230-6468) でご連絡ください。
- ※ 会場の都合で、各ワークショップに定員を設けております。
(申し込み多数の場合、ご参加いただけないこともあります)

参加費：2,000円(資料、報告書代として) 学部学生無料

懇親会費：4,000円

- ・参加費・懇親会費等は受付時に徴収いたします。
- ・参加費は、資料作成ならびに報告書「新しい医学教育の流れ」の作成の一部に使用いたします。
- ・参加費をいただいた方には、後日報告書を送付いたします(学部学生は報告書の送付は含まれません)。



福島県立医科大学へのアクセス

開催中、JR福島駅⇔福島県立医科大学の送迎バス運行します
(詳細はHPでご確認ください)

電車の場合・・・

<東北新幹線>

JR福島駅～JR東京駅・・・約1時間40分

JR福島駅～JR仙台駅・・・約25分

JR福島駅～福島県立医科大学 約10km

・自家用車等運転所要時間/約20分

・タクシー料金3200円程度

・JR福島駅東口から路線バス運行

車の場合・・・

<東北自動車道>

福島西I.C～福島県立医科大学・・・約13分

松川スマートI.C～福島県立医科大学・・・約8分

飛行機の場合・・・

福島空港～福島県立医科大学・・・58.8km (直線概算距離)



FUKUSHIMA
MEDICAL
UNIVERSITY